学校番号	410

令和３年度　家庭科

教科	家庭	科目	家庭総合	単位数	１単位	年次	３年次
使用教科書	「家庭総合　自立・共生・創造」　（東京書籍）						
副教材等	生活学 Navi　（実教出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

単元ごとに様々な生活課題を示し、自分自身の課題として捉え、考えることで、課題解決能力が身につくようにする。
実習・実験などで体験的に学ぶことで理解を深めることができるようにする。
自分自身の現在および将来の生活に反映できるように、各単元のテーマを自分自身の課題と考え積極的に取り組むこと。

２　学習の到達目標

人の一生と家族・家庭，子どもや高齢者との関わりと福祉，消費生活，衣食住などに関する知識と技術を総合的に習得する。
学習した知識や技術を活かし，家庭や地域の生活課題を主体的に解決する態度を育成する。
家族や社会との共生を目指し，生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てる。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	人の人生と家族･家庭及び福祉、衣食住、消費生活などについて関心を持ち、その充実向上をめざして主体的に取り組むとともに、実践的な態度を身に付けている。	人の一生と家族･家庭及び福祉、衣食住、消費生活などについて生活に充実向上を図るための課題を見いだし、その解決をめざして思考を深め、適切に判断し、工夫し想像する能力を身に付けている。	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な技術を身に付けている。	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な知識を身に付けている。
評価方法	学習状況の観察 ワークシートの記述 実習記録 レポート 発表 自己評価　等	学習状況の観察 ワークシートの記述 実習記録 レポート 発表 自己評価 定期考査　等	学習状況の観察 ワークシートの記述 作品 レポート 発表 自己評価 定期考査 実技テスト　等	学習状況の観察 ワークシートの記述 レポート 発表 自己評価 定期考査 実技テスト　等

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	食生活をつくる	○食品の選択や調理の際の安全に関する必要事項を学ぶ。 ○食生活の自立に必要な基本的な調理技術を科学的な視点から学び，日常食を作れるようになる。 ○日本や地域の食文化を見直し，食文化を主体的に継承できるようになる。 ○食生活の変化や問題点を知り，環境や食料自給率の問題を考える。 ○生涯を通じて健康で安全な食生活が営めるようになる。	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○	○ ○ ○ ○ ○	a：食事と健康、安全と環境に配慮した食生活、ライフスタイルと環境に関心をもち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 b：食事と健康、安全と環境に配慮した食生活について、課題を見いだし、その解決をめざして考え、適切に判断を表現している。 c：生涯を通して健康で安全かつ環境に配慮した食生活を営むために必要な栄養、食品、調理、食品衛生等の技術を日常食の調理実習を通して身に付けている。 d：栄養、食品、調理、食品衛生、ライフスタイルと環境等について実験・実習を中心とした学習を通して科学的に理解し、健康で安全な食生活を主体的に営むために必要な知識を身に付けている。	授業観察 ワークシート 実習レポート 実習記録 自己評価 定期考査
	高齢社会を生きる	○高齢社会の現状と課題を理解する。 ○高齢期の心身の変化や特徴と、個人差が大きいことを理解する。 ○高齢者を支援する方法を具体的に学ぶ。 ○高齢者に関する福祉について学び、高齢者を支える制度と課題を考える。	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○	○ ○ ○ ○	a：高齢者の生活について関心を持ち、実践的・体験的な活動を通して意欲的に学習に取り組もうとしている。 b：高齢者の生活について、家族や地域の生活を見つめて課題を見いだし、その解決をめざして考え、表現している。 c：高齢者と適切にかかわることができ、高齢者の自立生活を支える技術を身に付けている。 d：高齢者の生活について理解し、家族・地域・社会の果たす役割を認識するために必要な知識を身に付けている。	授業観察 ワークシート 実習レポート 実習記録 自己評価 定期考査
	共に生き，共に支える	○一生を通した福祉や社会的支援の必要性を知る。 ○多様な人々のニーズ，ノーマライゼーションの理念を理解し，ユニバーサルデザインを具体的に考える。 ○社会保障制度の理念と内容を学ぶ。	○ ○ ○	○ ○	○	○ ○ ○	a：共生社会に関心をもち、社会の一員としての自覚をもち，意欲的に学習に取り組もうとしている。 b：社会の一員として、共生社会を実現するために課題を見いだし、何ができるか考え、工夫している。 c：共生社会の実現に向けて，自分のできることは何か，情報を収集・整理したり、実践したり、支え合う活動に必要な技術を身につけている。 d：共生社会と福祉について理解し、家族・家庭の生活を支える福祉や社会的な支援が果たす役割を認識するための知識を身に付けている。	授業観察 ワークシート 実習レポート 実習記録 自己評価 定期考査

2学期	子どもと共に育つ	○出産前後の健康管理と子どもの発達の様子および発達段階を知る。 ○人生の初期における親・家族や周囲の人々の関わりの大切さを学ぶ。 ○遊び，基本的生活習慣の形成，食事，健康管理について学ぶ。 ○子どもとの触れ合いを通して、愛着の形成と親としての成長を理解する。 ○子どもを取りまく社会変化の現状について理解し，考える。 ○児童福祉の理念を理解し、子育て支援の現状を学ぶ。	○ ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○	 ○ 	○ ○ ○ ○ ○ ○	a: 子どもの発達と保育について関心を持ち、実践的・体験的な活動を通して意欲的に学習に取り組もうとしている。 b: 子どもの発達と保育について、家族や地域の生活を見つめて課題を見いだし、その解決をめざして考え、表現している。 c:子どもと適切にかかわることが出来、子どもの健やかな発達を支える技術を身に付けている。 d:子どもの発達と保育について理解し、家族・地域・社会の果たす役割を認識するために必要な知識を身に付けている。	授業観察 ワークシート 製作物 自己評価 定期考査
3学期	住生活をつくる	○住居の機能を考える。 ○平面図の基礎知識を得て、間取りが理解できる。 ○ライフステージに合った住居を考える。 ○住居を選ぶ際室内外の環境に着目し，安全性・快適性等を考慮する必要性を学ぶ。 ○バリアフリーの考え方を理解し、につける。 ○気候風土に応じたさまざまな住様式が存在することを学ぶ。 ○住環境における地域社会とのつながりの重要性を理解し、続可能な住生活とは何か考える。	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	a: 生涯を見通して、住居の機能や住空間の計画などについて関心をもち，よりよい住生活や住環境について考えようとしている。 b: ライフスタイルや価値観に応じ、生命と健康を守るための暮らしのあり方や、安全と環境に配慮した住生活について考え、工夫し、まとめたり、発表したりしている。 c: よりよい居住環境を整備するために必要な平面図を読み取ることができる。住居の計画や選択に必要な情報を収集・整理する技術を身に付けている。 d : 住空間の計画，住環境など，安全で快適ないについて科学的に理解している。 住居と気候・風土・生活のかかわりを理解している。 安全と環境に配慮した住環境や現代の住生活の課題を認識し、その知識を身につけている。	授業観察 ワークシート レポート 定期考査
	ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動	○自分の家庭や地域の生活について振り返り、問題点を見つけ、その問題を解決するために家庭科の学習を生かして、自分自身の力で創意工夫しながら、実践する。	○	○	○	○	a:自分の家庭や地域の生活に関心をもち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 b:自分の家庭や地域の生活の充実・向上のため、問題点を見つけだし、何ができるか考え工夫している。 c: 豊かな家庭生活・地域生活の実現に向けて，自分のできることは何かを考え，情報を収集するなど、実践的態度を身につけている。 d: 自分の家庭や地域の生活の課題について理解し、問題解決を行うために必要な知識を身に付けている。	

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画　作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。